

ロボットとエレベータが連動した次世代型施設管理構築

実証概要

実証場所	大手町ビル
実証フィールド提供者	三菱地所株式会社
実証時期	2019年12月9日（月）～2019年12月10日（火）

実証内容

三菱地所株式会社では、所有・運営管理している様々な施設に対して、ロボット活用を主軸とした次世代技術の活用を目指し、ロボット導入に向けた検証を行っています。実運用に向けた検証活動として、これまで、自動運搬ロボットや清掃ロボット、警備ロボット等の多くの実証を実施しており、実際にオフィスや商業施設の通常の警備・清掃業務にロボットの実導入を進めるなど、ロボットの社会実装に向けた実績を持ちます。

本実証では、大手町エリア最大級のフロア規模を誇る1958年築のオフィスビル「大手町ビル」にて、三菱地所株式会社が導入する自律移動型警備ロボットSQ-2を用い、一般のビル利用者も存在する実環境において、エレベータとロボットの連動実証を行いました。

実証ロボット

自律移動警備



ロボット名 (製品名)	SQ-2
企業名	SEQSENSE株式会社
ロボット概要	独自の3Dライダーにより、高度な自律移動を実現。 複数のカメラ、センサーを活用し警備員と連携することで警備タスクを実施。 1回の充電で最大10時間稼働、充電は自動で実施。
事業概要	自律移動型ロボット及びその関連製品の開発